

## シールテープによるねじ接合

接合ねじの許容差によっては  
シールテープの巻き数が異なります

給水栓と水道配管とのねじ接続部の水密性を保つためシールテープが用いられます。

おねじ、めねじの寸法差によって接合部には必ず隙間が生じます。シールテープはこの隙間を埋め水密性を確保するために使用します。

おねじ、めねじにはそれぞれ許容差が設定されており、個々の製品によって寸法差があります。

ねじの寸法差によりシールテープの巻き数に増減が生じます。

シールテープの巻き数が適正でないと  
漏れの原因になります

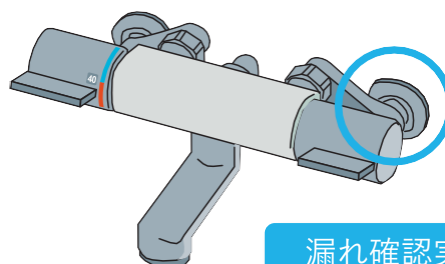
シールテープの巻き数は、ねじの寸法許容差によって大きく異なります。シールテープの巻き数が適正でないと漏れの原因になります。

※ねじ込み後の逆回しは水密性が低下するため行わないでください。

取付完了後には接続部の漏れ確認を確実に行ってください。



シールテープの  
巻き数は適正に



漏れ確認実施